

★笹谷小の子どもを紹介します 510名 (H30. 5. 1現在)

学年	1	2	3	4	5	6	ささのは1組	ささのは2組	かしのみ	計
男子	47	41	43	31	53	37	7	6	7	272
女子	37	52	40	36	27	43	1	1	1	238
計	84	93	83	67	80	80	8	7	8	510
学級	3	4	3	2	3	3	1	1	1	21

★笹谷小の職員を紹介します

1	校長	福士 久子	20	6年2組	山崎 恵子
2	教頭	松田 倫明	21	6年3組	佐藤 脩
3	教務主任	町田 光雄	22	ささのは1組	小笠原 由美
4	1年1組	高橋 優子	23	ささのは2組	佐久間 陽子
5	1年2組	松本文子	24	かしのみ	益田 昌幸
6	1年3組	天野 富貴子	25	低学年分科	梅津 美奈子
7	2年1組	宮武 文子	26	中学年分科	菅野 恵子
8	2年2組	関澤 唯	27	高学年分科	荒木 藤夫
9	2年3組	齋藤 静奈	28	新採用担当非常勤	片寄 睦子
10	2年4組	角田 咲恵	29	養護教諭	鈴木 春香
11	3年1組	浅野 京子	30	主任主査	佐藤 由美
12	3年2組	酒井 亜美	31	技能主査	三浦 友之
13	3年3組	岩永 智志	32	事務補	大内 知恵子
14	4年1組	渡邊 恭子	33	特別支援協力員	菅野 麻貴
15	4年2組	齋藤 淑恵	34	特別支援支援員	大内 みさき
16	5年1組	小針 宏昭	35	スクールカウンセラー	佐久間 益郎
17	5年2組	鈴木 友萌美	36	配食員	佐藤 ちか子
18	5年3組	高橋 奈々恵	37	配食員補	金澤 宏子
19	6年1組	古田 孝信	38	配食員補	佐藤 綾子

PTA

会長	菅藤 重幸
副会長	菅藤 光洋
	佐藤 友香
	横山 幸恵
	多田 祐子
庶務	星 智久
	片平沙由樹
会計	加藤 美香
	遊佐 万弥
監査	佐々木梨絵
	山際 綾子
補佐	武田 智子
	菅藤 寛子
	坂本裕紀子
	小林 覚子
	本間 庄子

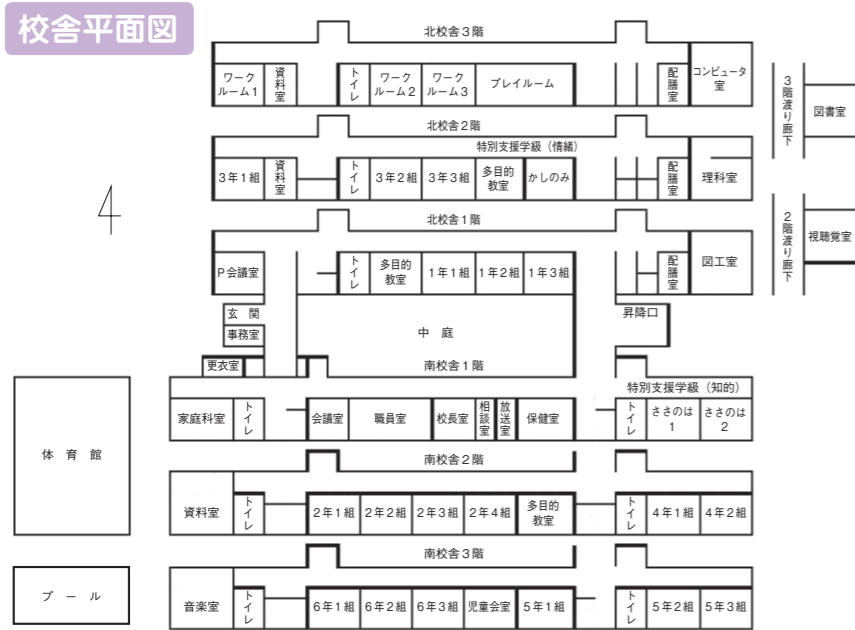
校医

ささやこどもクリニック	菅井 優子
岡こどもクリニック	岡 史仁
末永歯科医院	末永 弘卓
飯久保歯科医院	飯久保 美穂
桜水さかい眼科クリニック	橋本 禎子
西條耳鼻咽喉科医院	西條 博之
きりん調剤薬局	矢吹 純

授業日数

学期	月	授業日数
1学期	4	16
	5	22
	6	22
	7	14
2学期	8	5
	9	18
	10	23
	11	22
3学期	12	15
	1	18
	2	19
	3	15
計		209

学校案内図



昭和43年(1968年)に校旗が新しくつくられました。PTAの会長をした人々が贈ってくれたものです。いまの校旗がそれです。校旗を新しくしたことを機会に、笹とカシの葉をデザインした校章が作られました。いまの校章がそれです。

笹、つまり竹には、清くすこやかで、しかもまっすぐに伸びる性質があります。カシには、四季の移り変わりにも強く、自信いっぱい空高くのびる性質があります。校章には、笹谷小で学ぶ子どもたちにこの笹やカシのように、清く、正しく、自信をもって成長してほしい、という願いが込められているのです。



平成30年度 学校要覧



ささや



笹谷小学校 校歌

校 関 菅藤 高徳
作 詞 丹治
作 曲 岡山 直忠

一、朝霊山の日をうけて
昔をかたる 榎三本
強く仲よく 育てよと
おお輝く 我が笹谷校

二、白雪映ゆる 吾妻嶺に
希望の煙 高かつ
清く正しく 学べよと
おお輝く 我が笹谷校



福島市立笹谷小学校
《明治6年12月20日 開校》

〒960-0241 福島県福島市笹谷字上町18番地
【学校番号23】 TEL (024)557-1462・1466 FAX 558-5943
E-mail sasaya-e@fukushima-city.ed.jp

主な予定 (学校行事)

4月

- 6 1学期始業式・入学式
- 9～13 発育測定
- 11～20 視力・聴力検査
- 18 避難訓練①
- 23 交通教室①
- 27 遠足

5月

- 7～14 内科検診
- 9 耳鼻科検診
- 8～16 運動会学年練習
- 11～15 運動会全体練習
- 16 鼓笛パレード
- 19 運動会
- 23 眼科検診
- 24 歯科検診
- 30 心電図検査

6月

- 12～14 5年宿泊学習
- 26～27 6年修学旅行

7月

- 20 1学期終業式

8月

- 27 2学期始業式

9月

- 12 交通教室②
- 14 避難訓練②
- 20 鑑賞教室

10月

- 10 就学時健康診断
- 16 学習発表会校内発表
- 20 学習発表会

11月

- 20 避難訓練③

12月

- 21 2学期終業式

1月

- 8 3学期始業式
- 22～23 特別支援学級宿泊学習

3月

- 13・15 卒業証書授与式練習
- 19 卒業証書授与式予行
- 20 年度末清掃
- 20 修了式
- 22 卒業証書授与式

教育目標

心豊かなたくましい 子どもの育成



めざす子ども像

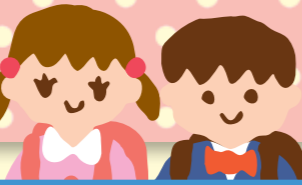
- 進んで学ぶ子ども (知)
- 思いやりのある子ども (徳)
- しょうぶな子ども (体)

児童の実態

- 素直でまじめで言われたことはきちんとやろうとする。
- 個の学力差が大きい。
- 主体性や表現力がやや不足している。
- 児童の人間関係が固定化しやすい。

保護者の願い

- 分かる授業で学力を向上させてほしい。
- 体力を付け元気に過ごしてほしい。
- あいさつがしっかりできて、優しく思いやりのある子どもになってほしい。



学校経営の方針

『チーム笹谷で邁進』『情熱を持って高みを目指す』

「学校大好き」と笑顔で元気に夢を膨らませて通ってくる児童、「子どもたちのために」という児童愛と教育への情熱をもって職務に取り組む教師、保護者の信頼を基盤に、安心安全な学校環境のもと、保護者・地域と連携した社会に開かれた学校を目指し、学校経営を進める。

- (1) ユニバーサルデザインの視点を生かし、誰もがかけがえのない一人の人間として尊重される楽しい学校づくりに努める。
- (2) 一人一人に学ぶ喜びを味わわせ、確かな学力を身に付けさせる。(知)
- (3) 豊かな人間性・社会性をはぐくむ教育活動の充実に努める。(徳)
- (4) たくましい体をつくり、心身の健康の保持増進に努める。(体)
- (5) 家庭や地域社会との連携を図り、開かれた学校づくりに努める。

- 心のケアの充実
- 学級集団づくりの充実
- 道徳教育の充実
- キャリア教育の推進
- 危機管理マニュアル、防災安全計画等の見直し
- 放射線教育の実施

めざす学校像

本校

- 誰もが協力し合い、学び合える明るく楽しい学校

県北教育事務所

- 学級・学習集団づくり「認め合い・励まし合い・磨き合い」
- 自ら課題を見つけ主体的に解決する子ども
- ひとと関わり心を通わせながらよりよく生活する子ども
- 進んで運動し体力の向上と健康づくりに励む子ども

福島市教育委員会

- 子どもの育ちを総合的・連続的にとらえ、「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進
- 「確かな学力」 ● 「豊かな心」
- 「健やかな体」 ● 「子どもの育ちを支える環境づくり」

「学力の向上」

- ① 学習習慣の確立
 - 学習への構えの確立 (学びのスタンダード)
 - 家庭学習の充実 (家庭学習の手引きの活用)
- ② 授業の改善
 - ユニバーサルデザインの視点を生かした授業の工夫
 - 基礎基本の定着 (定着確認シートの活用)
 - 思考力・判断力・表現力の向上
 - アクティブ・ラーニングの手法を生かす
 - 習熟度に応じた指導の工夫
- ③ 実感を伴った学びの展開
 - 読書活動、体験活動の充実
 - 人材活用の工夫
- ④ 教員の授業力の向上
 - 本質を踏まえた授業力の向上
 - 現職研修の質的充実
- ⑤ 児童の育ちを支える環境づくり



「豊かな心の育成」

- ① あいさつや礼儀、規範意識の向上
 - 基本的な生活習慣の確立
 - 家庭・地域との連携強化
- ② 道徳的実践力を高める道徳教育の実践
 - 道徳の教科化を基とし、道徳の時間を要とした道徳教育の充実
 - 奉仕活動や体験活動の充実
 - 生命尊重、感謝の心の育成
- ③ よさを認め合う学級集団づくり
 - 生徒指導の機能を生かした学級経営の充実
 - Q-Uテスト (年2回) を活用した学級づくりの推進
 - 特別活動の充実、教育相談の充実
- ④ 個の特性に応じた特別支援教育の充実
 - 全教職員の共通理解と全校態勢での取組の充実 (交流及び共同学習の充実)
- ⑤ 児童の育ちを支える環境づくり



「健康・体力の増進」

- ① たくましい心と体をつくる体育指導の充実
 - 「運動身体づくりプログラム」の効果的な活用
 - 体力づくりの充実 (業間マラソンの年間実施、朝や休み時間・放課後等の時間の活用の工夫)
 - めあてを意識した運動の継続、外遊びの推奨
- ② 健康教育の充実
 - 食育指導、肥満対策指導、虫歯予防と治療率向上、感染症予防指導、縦割り清掃指導の充実
- ③ 安全教育の充実
 - 交通事故防止、学校事故防止の徹底
 - 防犯対策指導、防災・減災教育、放射線教育の指導の充実
 - 生命尊重の指導、教育
- ④ 児童の育ちを支える環境づくり



家庭・地域社会・関連機関との連携

- 情報の積極的発信
- PTAとの連携
- 幼稚園、中学校との連携
- 学校評議員の活用
- 地区諸団体との連携
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用

教職員の資質の向上

- 現職研修の質的充実
- 各種研修会への参加
- 不祥事絶無
- 学校評価の推進
- 学校運営の活性化を図る学校評価